



〒108-0071

港区白金台

3-7-1

3443-5666

<https://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



子どもたちの探究活動に関するオンライン研修に参加する教員



ビオトープの専門家と園内を回って指導を受ける教員



そらにわでは、サトイモが元気に育っています



幼児期における「学力」

園長 佐々木 勝世

夏季休業中、いかががお過ごしでしたか。親子で一緒に遊んだり、お出掛けをしたり、様々な体験を楽しまれたことと思います。子どもたちから話を聞くのが、今から楽しみです。

教員も夏季休業中に様々なことに取り組みました。本園では、豊かな自然環境を生かした教育を推進するため、各学年の指導について全教員で議論し合う「園内研究会」を毎月実施しています。その園内研究会の一環として、港区の環境課の協力を得て、ビオトープ（生物が自然な状態で生息する空間）の専門家を招いて園庭を共に回り、環境の改善や保育の工夫について話を伺いました。また、教育委員会等が実施する研修会にも参加するなど、各自が主体的に今の自分に必要なこと、やってみたいと思うことに取り組みました。もちろん休暇も取って、リフレッシュもしました。

私は、「幼稚園と小学校の連携」に関する研修を受講してきました。講師の上智大学 奈須 正裕 教授によれば、「幼稚園ではこれまで『学力』という言葉で子どもの育ちを語ってこなかった。それが小学校との相互理解や円滑な接続を阻む要因の一つとなってきた」とのことでした。では、幼稚園では学力を育てないのか？という、「そんなことは決してない」とおっしゃっていました。私も全く同感です。幼稚園では、遊びや生活全般を通して、様々な**知識及び技能の基礎**や**思考力・判断力・表現力等の基礎**、**学びに向かう力・人間性等**といった資質・能力（≡学力）を育てています。

例えば、国語科につながる様々な言葉、算数科につながる数量・図形などの知識と、それらを駆使して自分のしたいことを実現する思考力・判断力、仲間に思いを伝える表現力、もっとこうしてみたいという探究心や、困難に出会ってもあきらめない意志の力…etc.。7月号の巻頭言で「幼児の遊び＝学習」だとお伝えしましたが、幼稚園の子どもたちはこうした学力を自ら身に付けていく「有能な学び手」「学習の主体者」なのです。

<9月の指導のねらい>

3歳児

- 幼稚園での遊び方や生活の仕方を思い出し、園生活のリズムを取り戻す。
- 先生や友達と触れ合ったり、体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。

4歳児

- 園生活に必要なことを思い出しながら、自分から様々な活動に取り組もうとする。
- 自分の思いや考えを出しながら遊び、友達と関わったり、思い切り体を動かしたりすることを楽しむ。
- 草花や木の実、虫などに関心をもち、観察したり、遊びに取り入れたりすることを楽しむ。

5歳児

- 自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えを受け止めたりしながら、遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- いろいろな運動遊びに挑戦する中で、自分の力を発揮したり、友達と力を合わせたりする。
- 草花や虫などの身近な自然の変化に気づき、興味をもって関わったり、栽培物の世話をしたりして関心を深める。

